

次期共生ビジョン素案の検討状況について

1. たたき台からの変更箇所について

- ・圏域の概況に関する指標の更新等（素案：P 15）

公共交通（路線バスエリアマップ、圏域内の駅の1日平均乗車人員）

- ・将来の人口及び高齢化率の目標（素案：P 17）

	令和2年 (2020年) 国勢調査	令和12年 (2030年)	令和22年 (2040年)	令和32年 (2050年)
圏域人口(人)	74,695	62,180	50,585	40,963
内訳能代市	49,968	42,402	35,670	30,033
藤里町	2,896	2,400	2,000	1,650
三種町	15,254	12,413	9,213	6,550
八峰町	6,577	4,965	3,702	2,730
参考：社人研推計準拠		59,314	46,482	35,152
内訳能代市		40,253	32,200	24,973
藤里町		2,141	1,541	1,064
三種町		11,768	8,824	6,284
八峰町		5,152	3,917	2,831
高齢化率(%)	43.0	46.8	49.3	49.7
内訳能代市	41.6	44.2	46.5	46.7
藤里町	48.8	53.8	59.8	65.8
三種町	45.5	51.6	55.1	56.5
八峰町	46.2	53.1	56.5	57.1
参考：社人研推計準拠		48.8	53.7	58.6
内訳能代市		46.3	51.2	56.3
藤里町		53.8	59.8	65.8
三種町		54.4	59.7	65.1
八峰町		53.1	58.1	61.7

※目標は各市町の人口ビジョンを基に算出。

2. K P I 等の目標について

次ページ以降参照（素案：P 20～44）

KPIの目標値について

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

ア 地域医療体制の充実・強化

【具体的な事業】救急医療等支援事業

KPI	●(継続) (1)救急当番制参加病院数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	3	3	3	3	3	令和6年	3	3	施設
設定の考え方									
圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

KPI	■(見直し) (2)人口10万人あたりの在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(在宅当番)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	47.0	42.5	42.0	37.3	38.3	令和6年	38.3	38.3	施設
設定の考え方									
実医療機関数から人口10万人あたりの医療機関数へ見直し。 圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

KPI	■(見直し) (3)人口10万人あたりの在宅当番・小児救急医療体制参加医療機関数(小児救急)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	5.4	5.5	5.6	5.7	5.9	令和6年	5.9	5.9	施設
設定の考え方									
実医療機関数から人口10万人あたりの医療機関数へ見直し。 圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

イ 医療従事者の確保対策

【具体的な事業】産科医等確保支援事業、看護師確保支援事業

KPI	●(継続) (4)医師数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	156		158			令和4年	158	158	人
設定の考え方									
圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。 ※県医療圏域の見直しに伴い、使用する統計資料を国から県へ変更。									

KPI	○(新規) (5)産婦人科勤務医数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	8		8			令和4年	8	8	人
設定の考え方									
医療従事者の確保対策のKPIとして新たに追加。 圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

KPI	○(新規) (6)就業助産師数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	23		30			令和4年	30	30	人
設定の考え方									
医療従事者の確保対策のKPIとして新たに追加。 圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

KPI	■(見直し) (7)病院・診療所に勤務する看護師数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	653		625			令和4年	625	625	人
設定の考え方									
使用する統計資料の変更より、病院・診療所に勤務する看護師数へ見直し。 圏域において安定した医療を提供するため、現基準値を維持する。									

ウ 健康寿命の延伸対策

【具体的な事業】健康づくり推進事業、がん対策事業、带状疱疹予防接種費用助成事業

KPI	○(新規) (8)特定健康診査実施率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	32.5	34.7	35.7	37.4		令和5年	37.4	60.0	%
設定の考え方									
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 各市町における特定健康診査等実施計画を参考に設定。国目標値:60%									

KPI	○(新規) (9)特定保健指導実施率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	24.2	28.8	23.2	22.3		令和5年	22.3	60.0	%
設定の考え方									
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 各市町における特定健康診査等実施計画を参考に設定。国目標値:60%									

KPI	○(新規) (10)がん検診受診率(胃がん)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	15.3	13.6	13.0	12.1		令和5年	12.1	16.6	%
設定の考え方									
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 現在8人に1人の割合→6人に1人									

KPI	○(新規) (11)がん検診受診率(肺がん)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	14.6	13.8	13.4	13.0		令和5年	13.0	16.6	%
設定の考え方									
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 現在8人に1人の割合→6人に1人									

KPI	●（継続） （12）がん検診受診率（大腸がん）								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年（度）	基準値	R12目標値	単位
	11.9	12.4	11.7	11.3		令和5年	11.3	16.6	%
設定の考え方									
現在8人に1人の割合→6人に1人									

KPI	○(新規) (14)がん検診受診率(子宮がん)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	22.8	22.5	22.7	21.8		令和5年	21.8	25.0	%
設定の考え方									
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 現在5人に1人の割合→4人に1人									

KPI	○(新規) (15)がん検診受診率(乳がん)									
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位	
	33.3	32.7	33.3	32.6		令和5年	32.6	33.3	%	
設定の考え方										
健康寿命の延伸対策のKPIとして新たに追加。 現在3人に1人の割合を維持										

②福祉

ア 子育て支援の充実

【具体的な事業】福祉医療事業、母子保健事業、病児保育事業、子育て支援センター事業

KPI	■(見直し) (16)合計特殊出生率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年	基準値	R12目標値	単位
	1.52	1.25	1.19	0.99	1.05	令和6年	1.05	1.43	人
設定の考え方									
出生数から合計特殊出生率へ見直し。各市町の人口ビジョン等を参考に設定									

KPI	○(新規) (17)子育て支援センター利用者数									
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位	
	11,111	10,773	11,751	18,635	17,362	令和6年	17,362	14,000	人	
設定の考え方										
子育て支援の充実のKPIとして新たに追加。 各市町の子ども・子育て支援事業計画を参考に設定										

KPI	○(新規) (18)病児保育事業に関連するKPI(検討中)									
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位	
						令和6年			人	
設定の考え方										

イ 高齢者福祉の充実

【具体的な事業】緊急通報システム事業、生活管理指導短期宿泊事業

KPI	●(継続) (19)要介護(要支援)認定率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	21.9	21.4	20.5	20.6	20.2	令和6年	20.2	20.2	%
設定の考え方									
介護申請の適正化や介護予防事業の取組により減少傾向にある。基準値を維持									

③教育

ア 学校教育の充実

【具体的な事業】ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

KPI	■(見直し) (20)圏域内居住による奨学金の返還支援率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	28.3	28.6	28.7	31.0	35.1	令和6年	35.1	38.1	人
設定の考え方									
返還支援件数から支援率へ見直し。 直近5か年の返還支援率の増加傾向を踏まえ設定。									

イ 生涯学習機会の充実

【具体的な事業】文化会館・図書館管理運営事業、生涯学習推進事業

KPI	■(見直し) (21)圏域人口一人当たりの社会教育施設(図書館・スポーツ施設除く)利用回数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	3.44	6.54	6.30	5.60	5.69	令和6年	5.69	5.69	回
設定の考え方									
総利用回数から圏域人口一人当たりの利用回数へ見直し。 コロナ5類移行後の最高値である基準値を維持。									

KPI	■(見直し) (22)圏域人口一人当たりの図書館利用回数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	1.32	1.37	1.35	1.45	1.55	令和6年	1.55	1.55	回
設定の考え方									
総利用回数から圏域人口一人当たりの利用回数へ見直し。 直近5か年の最高値である基準値を維持。									

④産業振興

ア 広域観光の推進

【具体的な事業】広域観光推進事業

KPI	●(継続) (23)延べ宿泊者数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年	基準値	R12目標値	単位
	135,151	177,195	177,364	188,460	197,465	令和6年	197,465	210,000	人
設定の考え方									
観光DMOのKPI参考。毎年1%の増。									

イ 地域資源を活用した経済の活性化

【具体的な事業】スポーツ文化合宿誘致事業、地域活性化イベント支援事業、特産品販路拡大事業

KPI	●(継続) (24)行祭事・イベント入込客数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年	基準値	R12目標値	単位
	22,490	421,270	303,632	357,589	363,966	令和6年	363,966	387,000	人
設定の考え方									
毎年1%の増。									

KPI	○(新規) (25)観光地点入込客数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年	基準値	R12目標値	単位
	1,271,163	1,478,311	1,503,218	1,419,441	1,583,133	令和6年	1,583,133	1,681,000	人
設定の考え方									
地域資源を活用した経済の活性化のKPIとして新たに追加。毎年1%の増。									

ウ 企業誘致等による雇用機会の確保

【具体的な事業】企業誘致活動、地域雇用対策事業、地域企業働き手確保支援事業

KPI	●(継続) (26)新規高卒者の圏域内への就職割合								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	55.6	54.7	52.9	45.0	55.1	令和6年	55.1	60.0	%
設定の考え方									
能代市の総合戦略を参考に設定。									

エ 農林水産業の担い手育成

【具体的な事業】就農支援事業、農業人材育成事業

KPI	●(継続) (27)新規就農者数(目標値:5か年累計)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	目標値 (令和8~12年)	単位
	35	31	47	38	18	令和2~6年	169	100	人
設定の考え方									
能代市の総合戦略を参考に設定。(能代市10人、3町10人、計20人)									

オ 外国人材の確保

【具体的な事業】外国人材受入共生推進事業、外国人日本語学習支援事業

KPI	○(新規) (28)外国人材受入共生推進事業費補助金活用事業所数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	0	0	0	0	0	令和6年	0	5	事業所
設定の考え方									
外国人材の確保のKPIとして新たに追加。各年度5事業所を目標									

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進

【具体的な事業】生活バス路線等維持対策事業、路線バス等利用促進事業、大館能代空港利用促進事業

KPI	■(見直し) (29) 圏域人口一人当たりの路線バス等の利用回数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	4.15	4.05	4.47	4.54	3.76	令和6年	3.76	3.76	回
設定の考え方									
総利用回数から圏域人口一人当たりの利用回数へ見直し。 基準値を維持。									

KPI	●(継続) (30) 大館能代空港総利用者数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	24,170	45,346	145,617	173,057	194,655	令和6年	194,655	236,000	人
設定の考え方									
3往復運航の配分最終年度の利用者数目標(県)									

② 道路等の交通インフラの整備

ア 道路等の維持管理の連携

【具体的な事業】道路等の維持管理

KPI	■(見直し) (31) 道路及び道路構造物の効率的な維持管理件数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	2	2	2	2	2	令和6年	2	2	件
設定の考え方									
維持管理から維持管理件数へ見直し。三種町:除雪、藤里町:三ノ倉トンネル点検									

③ 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 移住定住の促進

【具体的な事業】移住定住促進事業、移住支援金、空き家活用事業

KPI	○(新規) (32) 人口の社会増減数の減少幅の抑制								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	▲ 499	▲ 393	▲ 258	▲ 235	▲ 313	令和6年	▲ 313	▲ 267	人
設定の考え方									
移住定住の促進のKPIとして新たに追加。各市町の人口ビジョン等を参考に設定									

KPI	●(継続) (33) 市町への相談を経た移住世帯数(目標値:5か年累計)								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	目標値 (令和8~12年)	単位
	29	35	69	75	82	令和2~6年	290	420	世帯
設定の考え方									
各市町の人口ビジョン等を参考に設定									

イ 婚活支援事業の充実

【具体的な事業】出会い創出事業、あきた結婚支援センター会員登録助成事業

KPI	■(見直し) (34)婚姻率								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年	基準値	R12目標値	単位
	2.0	2.2	2.2	2.0	2.1	令和6年	2.1	2.5	%
設定の考え方									
婚姻数から婚姻率へ見直し。秋田県の婚姻率(R6)を目標値と設定									

ウ 情報発信の強化

【具体的な事業】圏域情報発信事業

KPI	●(継続) (35)市町ホームページアクセス数									
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位	
	1,622,204	1,363,314	1,715,676	1,398,913	1,358,720	令和6年	1,358,720	1,400,000	件	
設定の考え方										
令和5年度の実績値以上を目指す。(コロナ5類移行後の最高値以上。)										

④その他

ア 松枯れ被害の対策

【具体的な事業】松くい虫対策事業

KPI	●(継続) (36)民有林における松くい虫被害量								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	2,583	1,747	2,646	2,081	5,738	令和6年	5,738	5,738	m ²
設定の考え方									
気温の上昇や大径木の被害により被害量が多くなってきており、最も被害が大きい令和6年度以下にする。									

(3) 資源制約に対応するための圏域マネジメント等に係る政策分野

① 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域市町職員の交流・合同研修

【具体的な事業】広域連携職員研修

KPI	■(見直し) (37) 延べ研修参加者数								
実績	R2	R3	R4	R5	R6	基準年(度)	基準値	R12目標値	単位
	9	9	9	9	4	令和6年	4	12	人
設定の考え方									
研修の実施から延べ研修参加者数へ見直し。年1回程度の開催を目標(各市町3人×4自治体)									

3. 前回懇談会における委員からの意見等に対する検討状況

区 分	委員からの意見等
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・能代市は、広域の長寿園廃止に伴い、特養を民営で整備する方針だが、藤里町、三種町、八峰町における特養の経営は厳しくなっている。民間は赤字になったら撤退できるが、社会福祉法人は簡単には解散できず、最後の砦となる。そのため、結論を出すものではないが、圏域の問題について、行政の計画が正しく進んでいるのかを検証する、行政関係者の懇談の場が必要ではないかと考える。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが少なくなる中、市町村単独での小中学校は、成り立つのだろうか。旧飯田川町、旧昭和町が設置していた羽城中学校組合のような取組を将来的には考えていく機会があってもよいのではないかと考える ・各市町で教育行政の取組を進めている中、広域圏で先行して懇談会を設置していくことは困難であり、まだ早いと思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・KPI の目標値として現実的な数値を設定いただきたい。

4. 市町長意見交換会の意見等に対する検討状況

区 分	市町長からの意見等
福祉	<p>【病児保育事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て世代との意見交換の中で、病児保育の拡充を求める声が高い。 ・インフルエンザ等が流行する時期には、利用者が集中して利用できず、利用勝手が悪い。 ・医療従事者が整っている場所での事業実施が現実的だと思うため、実施機関の拡充を検討していただければありがたい。